



1 1 1		整理番号	
全日本洋菓子工業会 共同組合		洋生菓子・焼菓子 製造工	
職 種 名		推薦都道府県 ・推薦団体名等	
ふりがな		氏名	
(六十四歳)		かまた あけひこ 鎌田 明彦 (年齢)	
所属名		有限会社シエルボン	
技能功績の概要		昭和三十五年、洋菓子店に入社以来四十六年間に亘って洋菓子製造に携わり、昭和四十三年当時からほぼ毎年フランス、スイス、ドイツ等の各地へ出かけて製菓技術の研鑽を積み、その技能・技術は卓越している。	

第15部門

116		115		114		113		112		整理番号	
奈良県		兵庫県		愛知県		神奈川県		東京都		職 種 名	
美容師		美容師・衣装着付師		美容師		理容師		理容師		推薦都道府県・推薦団体名等	
ふりがな		氏 名		(年 齢)		所 属 名		技 能 功 績 の 概 要			
岩見 栄一 (六十六歳)	いわみ えいいち	古川 弘子 (五十二歳)	ふるかわ ひろこ	宇佐美 利子 (七十四歳)	うさみ としこ	磯本 陽太郎 (七十二歳)	いそもと ようたろう	田中 敏雄 (六十歳)	たなか としお	ヘアサロン 髪工房	ヘアデザインから、かつらの装着技術にいたるまで幅広い理容技術に優れる。特に身近な理容店で男性かつらの施術が受けられる技術を全国に先駆けて開発・実用化しており、その技能は全国でも第一人者であると評価されている。
いわみ美容室		(株) ミレニアムすみれ		合資会社マリヤ美容院		トニー		ヘアサロン 髪工房			平成四年に開催された世界理美容技術選手権において、三部門の優勝を遂げるなど卓越した技能を有している。特にアイロンによる技能は消費者のニーズに因應べく、独自のアイロン器具の開発を行い、ファッション性を表現するメッシュ技法を考案するなど、業界の技能向上と振興に寄与した。
美容師免許取得以来、今日まで技能の研鑽に努めてきた。この間各種のコンテストに出場し、優秀な成績を収めている。また、その技術が全体の認めるところとなり、県、市の各種団体の技術習練技術者として、活躍している。		美容師・衣装着付師として優れた技能を有し、日本髪の新日本髪自髪結い上げに独自の技能を持ち、独自に考案した髪飾り取付用具を用いて新日本髪を数分で仕上げる。また、きもの美しいラインを手早く演出出来る用具を考案し、時代にあったきもの文化の継承にも努めている。		美容師として豊富な経験と知識に基づいた技能は、婚礼美容の分野に卓越している。多くの創作作品を発表すると共に、着付けにおける改善工夫に努め、美容技能の向上に資し、業界の第一人者である。また、マスメディアを通じて美容の魅力を披露し、業界の地位向上にも貢献した。							

第16部門

122		121		120		119		118		117		整理番号	
職 種 名		氏 名		ふりがな		所 属 名		技 能 功 績 の 概 要		職 種 名		氏 名	
推薦都道府県 ・推薦団体名等		(年 齢)											
高根県	日本料理人	大阪府	日本料理人	滋賀県	日本料理人	東京都	中華料理人	千葉県	日本料理人	宮城県	中華料理人		
かたじ ろくじろう 片地六治郎 (六十六歳)	懐石料理 松浦屋与兵衛	尾崎 滋 (五十九歳)	おさき しげる	とね もりはる 刀根 盛治 (六十二歳)	さとう あつし 佐藤 厚 (六十三歳)	そうま けんいち 相馬 謙一 (五十八歳)	学校法人 食糧学院 東京調理師専門学校	そうま けんいち 相馬 謙一 (五十八歳)	(有) そう馬	くまがい とみゆき 熊谷 富幸 (六十二歳)	学校法人 朴沢学園 明成高等学校		
郷土色豊かな懐石料理の創作を行い、地元の食材を用いて、四季折々の素材の味を活かした料理に仕上げる技能に優れている。また、技能の錬磨に励むとともに、数々の調理方法の考案を行い、業界の調理技術の向上に貢献している。		長年日本料理人として職務に従事し、「煮方の技能」「豆腐料理」「祝宴会席」などに、優れた技能を発揮している。長年の経験によって得た知識、技術において、幾多の工夫、開発、改善を図り、その優れた業績については業界各方面から多大な評価を受けている。		長年にわたり日本料理に従事し、伝統的日本人料理の調理技能の研鑽に努め、その卓越した技能をもって、滋賀の特産の食材を用いた多くの料理を創作するとともに、職業訓練指導員として後進の指導育成に貢献した。		特に帆立貝やタイラ貝など新鮮な貝類を用いる広東料理の調理技能に優れ、幾多の創意工夫を施して調理技能発展、高品質料理提供に貢献し、煮込み料理を常時提供できる方法を確立して、効率化、生産性向上に寄与し、一般消費者への普及、啓蒙、学生を含む後進をよく指導して技能者育成に尽力している。		昭和四十年、日本料理業界に就業以来、日本料理の技法、伝統としまたりを学ぶ。包丁の技術を活かした調理法を工夫して、会席料理や茶懐石料理の調理技能に卓越している。		四十三年間にわたり調理人として従事した。技能の研鑽に努め、特に海産物を用いた中華料理の技能に卓越し、数々の優れた料理を完成させ、高い評価を得ている。さらに婚礼・宴会料理の工夫、改善により作業効率の向上に貢献し、数多くの専門書に優れた調理技能を公開する等、調理師の地位の向上及び業界の発展に大きく貢献した。			

1 2 5		1 2 4		1 2 3		整理番号		
(社) 日本料理研究会	日本料理人	(社) 会 日本ソムリエ協	ソムリエ	熊本県	中華料理人	推薦都道府県 ・ 推薦団体名等	職 種 名	
(六十七歳)	小 熊 義 秋	(六十八歳)	あつた たかし 熱 田 隆	(六十四歳)	さいとう たかし 斉 藤 隆 士	(年 齢)	氏 名	ふ り が な
(株) 吉祥		有 限 会 社 ワ ー ル ド ワ イ ド サ ー ビ ス		(株) 熊本ホテルキャッスル		所 属 名		
日本料理業界に入職以来、日本料理の技能の研鑽に努め、日本料理の伝統と しきたりを学びながら、現代に通じる調理技能の向上に尽力する。 また、業界団体の役員として各種展示会・講習会などの講師を勤め、調理技 術の向上に寄与するとともに、後進技能者の指導育成に貢献している。		豊かな人間性を持って、ワインの正確な専門知識、技能に卓越し、その指導 力で現在の日本におけるワイン文化の発展に大きく貢献し、後進ソムリエの指 導、育成に寄与した。		中国料理における味覚や食材の魅力を見事に引き出す調理法に優れ、四川料 理の伝統的な調理方法を基礎に、新しい技法や提供方法を取り入れ、調理技能 の発展と中国料理の普及に努めた。 また、高い完成度の中国料理を提供するかたわら、多くの優秀な技能者を育 成し、業界に輩出している。		技 能 功 績 の 概 要		

第17部門

131		130		129		128		127		126		整理番号	
兵庫		愛知県		石川県		新潟県		山形県		青森県		推薦都道府県・推薦団体名等	
室内装飾工		表具師		畳工		表具師		塗装前処理工・塗装仕上工		表具師		職種名	
中條昇 (六十九歳)		月東紀明 (六十八歳)		葛巻久一郎 (八十三歳)		井澤仙吉 (八十四歳)		太田健吉 (七十四歳)		鳴海忠男 (八十四歳)		ふりがな	
中條昇		月東紀明		葛巻久一郎		井澤仙吉		太田健吉		鳴海忠男		氏名	
中條昇		月東紀明		葛巻久一郎		井澤仙吉		太田健吉		鳴海忠男		(年齢)	
中條装飾		株式会社春香堂		石川県内装管轄協同組合		井仙堂井澤表具店		(株)太田塗装店		鳴海見忠堂表具店		所属名	
潜水艦等の特異な室内構造でも、複雑な切り込み施工法を駆使し、完璧な仕上げを行うほか、独自の工具を駆使するロールカーペットの柄合わせでは高く評価されており、昭和天皇ご宿泊の室内内装も手がけている。		表具作業に長年従事し、多くの作品を手掛けている。柿渋を使って紙を染め、独自に開発したアクリル板で柄を編み込み、建築、生活様式の変化によって敬遠されていた屏風、衝立の創作に努め、伝統工芸品を次世代の表具師に伝えている。		永年にわたり、畳工として研鑽に努めた。特に、床仕上げを始めとする畳工に関する技能に卓越し、伝統技術の向上積層柔道畳の開発、トルマリン健康たみを開発したほか、幾多の考案改善を行い、後進技能者の指導育成に貢献している。また、畳製作訓練指導員として、多数の若手技能士を育成し、現在、育て上げた職人が中堅技術者として活躍している。		袋表具、巻物表具に関する技能、特に経験と勘を必要とする柄、模様あわせ、折れ目を作らない技能に卓越しており、他の追隨を許さない。 また、技能グランプリ全国大会に優秀選手を派遣するため選手の強化訓練を実施するなど、後進の指導育成に努めた。		漆塗り工法を活かした技能では右に出るものはいない。特に刷毛塗装では卓越した技能を持つ。また、数多くの優秀な技能者を育成し、現在も指導者として活躍している。		昭和十二年表具見習工として就業以来、六十七年間一貫して表具作業に従事し、その間技能の研鑽に努めている。また、後進技能者の育成にも尽力し、多くの技能士を育て上げた。各種表装を始めとし、古書画修復に一層努力して、その高度な技能で仕上げた作品は高く評価されている。特に年代物の金屏風等の修復作業は、他の追隨を許さないものがある。		技能功績の概要	
中條昇		月東紀明		葛巻久一郎		井澤仙吉		太田健吉		鳴海忠男		所属名	
中條装飾		株式会社春香堂		石川県内装管轄協同組合		井仙堂井澤表具店		(株)太田塗装店		鳴海見忠堂表具店		所属名	
潜水艦等の特異な室内構造でも、複雑な切り込み施工法を駆使し、完璧な仕上げを行うほか、独自の工具を駆使するロールカーペットの柄合わせでは高く評価されており、昭和天皇ご宿泊の室内内装も手がけている。		表具作業に長年従事し、多くの作品を手掛けている。柿渋を使って紙を染め、独自に開発したアクリル板で柄を編み込み、建築、生活様式の変化によって敬遠されていた屏風、衝立の創作に努め、伝統工芸品を次世代の表具師に伝えている。		永年にわたり、畳工として研鑽に努めた。特に、床仕上げを始めとする畳工に関する技能に卓越し、伝統技術の向上積層柔道畳の開発、トルマリン健康たみを開発したほか、幾多の考案改善を行い、後進技能者の指導育成に貢献している。また、畳製作訓練指導員として、多数の若手技能士を育成し、現在、育て上げた職人が中堅技術者として活躍している。		袋表具、巻物表具に関する技能、特に経験と勘を必要とする柄、模様あわせ、折れ目を作らない技能に卓越しており、他の追隨を許さない。 また、技能グランプリ全国大会に優秀選手を派遣するため選手の強化訓練を実施するなど、後進の指導育成に努めた。		漆塗り工法を活かした技能では右に出るものはいない。特に刷毛塗装では卓越した技能を持つ。また、数多くの優秀な技能者を育成し、現在も指導者として活躍している。		昭和十二年表具見習工として就業以来、六十七年間一貫して表具作業に従事し、その間技能の研鑽に努めている。また、後進技能者の育成にも尽力し、多くの技能士を育て上げた。各種表装を始めとし、古書画修復に一層努力して、その高度な技能で仕上げた作品は高く評価されている。特に年代物の金屏風等の修復作業は、他の追隨を許さないものがある。		技能功績の概要	

135		134		133		132		整理番号	
全日本椅子張同業組合連合会	椅子張工	香川県	畳工	広島県	金属塗装工	岡山県	表具師	推薦都道府県・推薦団体名等	職種名
(六十九歳)	みやもと しげき 宮本茂紀	(六十四歳)	飯沼博	(五十六歳)	やまぐち たつみ 山口達美	(六十四歳)	たかばたけ みのる 高島稔	(年齢)	ふりがな 氏名
(株) ミネルバ		畳・ふすまの店 飯沼		マツダ(株)		高島表具店		所属名	
<p>伝統的な椅子張の高度な技術だけでなく、新しい技術を積極的に採入れ、開拓し、椅子というジャンルを幅広くとらえた活動は、世の中の多くの人々の生活向上に貢献している。開発者として、企業やデザイナーから絶大な信頼を得ている。</p>		<p>造形特殊畳(古式畳)の製作に卓越した技能を有しており、特に、八重畳の製作では、縹緗縁の菱形模様が八枚全体で一つの菱形になる技能を有している。</p>		<p>高品質で最高の精度に仕上げる吹付け塗装技能を有している。 また、塗装板金技能の標準化・マニュアル化やハイレフ塗装における画期的な専用治具の考案による生産性向上、社内技能伝承者としての若手育成等その貢献は多大なものである。</p>		<p>表具技能において、特に襖・屏風等の修復、製作について、卓越した技能を持ち、寺社からの修復の依頼が多く、その技術は他の追随を許さない。また、製作にあたっては、斬新なデザイン、仕様のアイディア等の優秀な技能を発揮するとともに、若手の指導には率先して手本を示すなど力を注いでいる。</p>		技能功績の概要	

第18部門

137		136		整理番号	
静岡県	広告美術工	茨城県	広告美術工	推薦都道府県 ・推薦団体名等	職種名
(七十二歳)	山口美代治	(六十九歳)	櫻井凱夫	(年齢)	ふりがな 氏名
アートスタジオ・ヤマ		(有) 櫻井工芸		所属名	
<p>映画看板書きに従事し、水貼り画法に優れるとともに、絵画の画工法を究め、景観に即した美しい作品を世に送り出している。さらに、技能グランプリや技能五輪全国大会出場選手の指導に力を注ぐなど業界の技能伝承に貢献している。</p>		<p>屋外広告物の製作に長年従事し、特に毛筆を活かした広告表現技能に卓越しており、長年の経験と考案により、独自のものをつくりあげるとともに、芸術的な広告物を製作することにより、都市づくりに貢献した。</p>		技能功績の概要	



第19部門

143		142		141		140		139		138		整理番号	
静岡県		福井県		富山県		神奈川県		東京都		福島県		職種名 ・推薦都道府県 ・推薦団体名等	
貴金属細工加工工		蒔絵師		蒔絵師		印章彫刻工		貴金属細工加工工		はく押沈金工		氏名 (年齢)	
桶澤 孝二 (五十六歳)		丸山 勇 (七十六歳)		高瀬 竜一 (七十八歳)		くにみね まさみ 國峯 正美 (七十歳)		梶原 昭雄 (六十四歳)		つのだ ひろし 角田 弘司 (七十四歳)		ふりがな	
アトリエKOH		丸山蒔絵工房		高瀬漆芸工房		(有) 國峰印房		ジュエリー工房 フィーゴ		漆芸工房 角田		所属名	
装身具全般において製作技能、デザインに卓越し、第十五回技能グランプリ第一位、プラチナギルドインタナショナルギルド賞、JJAジュエリーデザインアワード二〇〇四年厚生労働大臣賞等を受賞し、業界の発展に貢献した。		漆器製造の蒔絵作業において、最も難関とされる肉合研出蒔絵の技法については、全国の蒔絵師会での第一人者として優れた技能を有しており、平成二年十月の天皇陛下ご即位の饗宴の儀には、吸物椀を全国漆器産地で唯一採用され、宮内庁に納品した。		漆器加飾技術全般に長年培った知識と高度な技能を有し、特に鏝絵・蒔絵による表現技能において第一人者である。 高齢ではあるが、子とともに鏝絵技法を用いた製品造りに日々取り組み、更なる技術の修練に努め、後継者養成スクールにおいて、講師を務めるほか精力的に展示会に出品するなど、技術の伝承や伝統工芸品の普及に尽力している。		印章作業全般に卓越し、特に木口彫刻の字入れ作業で、印面に直接、逆字を横書きにする技能を開発し、字入れ作業の効率化を進め、業界の全国標準となった。 ゴム印彫刻でも業界の第一人者といわれ、彫りの美観と書道から得た独特の美しさは他の追随を許さない。		高度な原型製作技能を追求し、キャスト製品の高級化を促した。三笠宮瑠子女王殿下の正装用ジュエリーもこの技能によるもので最高の技術水準を要求されるものである。東京貴金属技能士会の活動のものづくり教室にも、講師を務め、都内小学校六校において、五百人を超える児童にもものづくりの楽しさを教えた。		漆器製造業の伝統技能の中でも、特に会津独特の彫刻ノミで彫る、沈金技法の点彫り、線彫り技能を得意としている。また、日展をはじめとする各種展示会等に作品を出展しており、数多くの入選を果たし、高く評価されるなど、会津の漆器の名を高め、漆器業界の発展向上に多大な貢献をしている。		技能功績の概要	

149		148		147		146		145		144		整理番号	
一般		(社) 日本ジュエリー協会		福岡県		愛媛県		大阪府		京都府		職 種 名 ・推薦都道府県 ・推薦団体名等	
菱びな人形製造工		貴金属細工加工工		フラワー装飾師		フラワー装飾師		フラワー装飾師		人形製造工		氏 名 (年齢)	
的 場 忠 (八十七歳)		石井 彦次 (六十六歳)		副島 諒子 (六十五歳)		かきもと はるよ 垣本 温代 (六十二歳)		なかむら としこ 中村 俊子 (六十九歳)		かたおか ゆきお 片岡 行雄 (七十一歳)		ふりがな	
菱びな人形アトリエ		(株) 石貴		福岡フラワーデザイン教室		(株) かきもと		メティエフローラル アートスクール		片岡光春人形司有限会社		所 属 名	
氏は、五十五年の永きに亘り、菱びな人形制作一筋に伝統技術、技法の向上と研鑽に精励し、特許を取得するほどの優れた技能者である。また、惜しみなく技能の指導を行うなど、菱びな人形業界の発展に努めている。		高度な技能に卓越し、独自の工法においてジュエリーを製作し、又数々のコンテストに自ら及び子弟らも数多く入賞を果たし、日本ジュエリーの技術向上に貢献した。 業界団体や中央技能検定委員等を歴任し業界の発展、後継者の育成に寄与した。		四十年余の長きにわたり、フラワー装飾一筋に技能の研鑽に精励し、自然の植生を活かした独自の作風により広く一般にフラワー装飾を普及させた功績は高く評価されている。 また、優秀な技能者の育成に努めるとともに、(社)日本フラワーデザイナー協会副理事長として、フラワー装飾業界の発展にも尽力している。		ヨーロッパ、中国でのフラワーデザイン展へ積極的に参加するなど、各国のトップデザイナーの指導を受け、技能・技術の研鑽に励みながら、模倣に終わることなく、自分のオリジナルデザインを確立した。		長年フラワー装飾に従事している。商業間のディスプレイ、舞台・公共スペースなどの装飾において技能を發揮している。生花装飾には欠くことのできない保水方法を独自に考案するなど、フラワー装飾業界全体の生産性の向上に寄与するとともに、後進育成にも尽力している。		名匠片岡光春の技を継承しつつ、素材収集から着付け仕上げまで独力での製作を行い、人形の大きさを自由に定めて衣装に布地の他に皮を使用する等、固定観念にとらわれない人形を製作して京人形の世界を飛躍的に広げており、作品の重厚・優美さは、他の追隨を許さない。		技 能 功 績 の 概 要	

第20部門

150		整理番号		
秋田県	金属手仕上工	推薦都道府県 ・推薦団体名等		職種名
(六十二歳)	千 貝 弘	ちが い ひろし	(年 齢)	氏 名
シークアーアテック(株)		所属名		
秋田県固有の伝統工芸である「杵目銅」技法の再現復活に貢献するとともに、新たな融着技術の開発による独自の製法技術を開発した。これにより、多様な文様の創出が可能となり、杵目銅技法の表現に新境地を切り開いた。		技能功績の概要		